



能登やさしいこめづくり情報

令和8年4月
J A 能登わかば
能登南部営農推進協議会

田植え編

育苗日数1か月以内の健苗を 植え、分けつを確保！

営農情報をLINEで迅速に！
このQRコードから友達登録を
してください。
営農情報が迅速に届きます。

1 健苗の準備 〔計画的な播種で健苗育成に努めましょう〕

- 田植え後の活着や初期分けつの発生を促すために、健康な苗(右図)を田植えしましょう。
- 種もみの中に養分の残っている状態の葉数(葉齢)が3枚(3葉期)に達する前に田植えをすることが大切です。
⇒ 老化苗(育苗日数が長く、葉齢が進んだ苗)では、活着が遅れ、初期分けつの発生が遅くなり、優良茎の確保が難しくなり、未熟粒による品質低下や減収に繋がります。
- 田植えの4~5日前からは夜間もハウス側面を開放し、外気に慣らしましょう(順化)。

2 代かき作業について

- 代かき作業は、田植え日や除草剤散布日を考慮し、計画的に実施して下さい。
- 環境に配慮した能登米生産にあたり、代かきによる濁水の河川流出を防止しましょう。
 - 畦が崩れていたり、穴などの漏水箇所は早めに補修しましょう。
 - 浅水での代かき作業を実施し、代かき濁水は排水しないようにして下さい。
 - 田植え前の「強制落水」は避けて下さい。

3 田植え作業について

- 植付本数：3~4本/1株 ⇒ 太植えは、過繁茂を助長します。
- 栽植密度：60株/坪以上 ※極端な疎植は避けてください。
- 植付深さ：2~3cm(第1葉が見える程度)の浅植え
⇒ 深植えでは、分けつや根の発生が遅れます。
- 水管理：活着後は浅水管理(2~3cm)を基本とし、低温が予測される日や風が強い日のみ一時的に深水管理とします。
(天候回復後は速やかに浅水管理に戻して下さい)

- 田植え前と田植え中に、田植機の栽植密度、植付け深さの設定を確認しましょう。

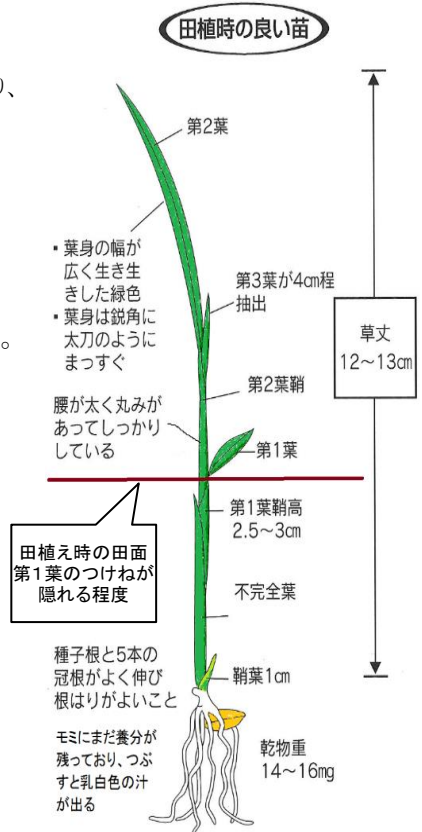
4 基肥施用について 〔能登米コシヒカリ：化学窒素成分量7kg/10a以下〕

- 基肥一発肥料は全層施肥の場合、代かき直前に行い、代かきから田植えまでを5日以上空けないようにして下さい。
(施用日と田植日の日数が開くと、穂肥の溶出パターンと稲の生育がズレ、倒伏や品質低下を招きます。)

施肥体系	肥料名	施用量(kg/10a)	
		能登米コシヒカリ	ゆめみづほ等(早生)
基肥一発	BB 有機入り能登コシ一発 NEO	20~30	—
	BB 有機入り能登コシ一発 DX	20~30	—
	BB けい酸パワー・コシ一発くん	40~55	—
	BB 里山の香	45~53	—
	BB 里山の香 DX	45~53	—
	BB 早生一発くん NEO	—	30~40
分施肥系	BB 高度056号	20~28	40

※ 施用量は目安です。ほ場の地力に応じて、加減して下さい。

※ コシヒカリは、化学窒素成分量を3割削減した能登米栽培基準のため、施用量の上限を厳守して下さい。



5 病害虫防除について

◆ 苗箱施薬剤の散布について

- ・ イネミズゾウムシ、イネドロオイムシなどの初期害虫や葉いもちの予防のため、防除を実施して下さい。
- ・ 6月下旬以降の低温多雨により、管内でもいもち病の発生が確認された年もあります。



イネミズゾウムシ



葉いもち

薬剤名	散布時期	散布量	主な対象病害虫
Dr.オリゼリディア 箱粒剤 (2成分)	田植え 3 日前 ～移植当日	50g/箱 (高密度播種 の場合は 50～ 100g)	いもち病、白葉枯病、もみ枯細菌病、ごま葉枯病菌、イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、ツマグロヨコバイ、フタオビコヤガ、ニカメイチュウ、イネツトムシ、イネヒメハモグリバエ、イナゴ類、ウンカ類
リョーガパディート 箱粒剤(2成分)	緑化期 ～移植当日	50g/箱 (高密度播種 の場合は 50～ 100g)	いもち病、白葉枯病、イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、フタオビコヤガ、ニカメイチュウ、イナゴ類

※ 葉が濡れていない状態で均一に散布し、葉に付いた薬剤は払い落して下さい。

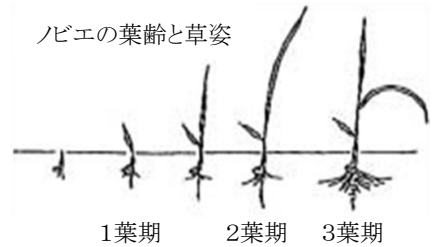
6 除草剤の使用について

- ・ 雑草は代かき直後から発生し始めます。除草剤の使用時期を守り、かつノビエの適用葉齢以内に散布して下さい。
- ・ 湛水散布する除草剤の有効成分は、一旦水中に溶け出した後、徐々に土壌表面に吸着され、除草効果を発揮します。除草剤の効果を十分発揮させるため、田植同時の場合、直ちにゆるやかに入水し、湛水状態(3～5cm)を保ちましょう。
- ・ 散布後 3～4 日間(処理層が形成・安定する時間)は湛水状態(3～5cm)を保ち、散布後 7 日間は落水やかけ流しはしないで下さい。なお、やむを得ず入水する場合は静かに(処理層を壊さないよう)行って下さい。

(参考)代かき後日数とノビエの葉齢の関係

ノビエの葉齢	1.0 葉齢	1.5 葉齢	2.0 葉齢	2.5 葉齢	3.0 葉齢	
代かき後の日数(平年)	七尾	8日	13日	17日	20日	24日

※ 5月1日に代かきを行った場合で平年の有効積算温度により試算



ノビエの葉齢と草姿

1葉期 2葉期 3葉期

〈初期剤＋中期剤の体系処理〉

剤	成分	除草剤名	使用時期
初期剤	1	マーシエット1キロ粒剤	田植同時～ノビエ1.0葉期
		ベクサーフロアブル	田植同時～ノビエ発生始期
2	かねつぐ1キロ粒剤	田植同時～ノビエ1.5葉期	

剤	成分	除草剤名	使用時期
中期剤	2	ワイドショット1キロ粒剤	田植後15日～ノビエ4.0葉期
		ニトウリュウ1キロ粒剤	田植後15日～ノビエ4.0葉期
	3	ブイゴールSM1キロ粒剤	田植後15日～ノビエ3.5葉期
		ウィードコア1キロ粒剤	田植後7日～ノビエ4.0葉期

〈初中期一発剤のみの体系処理〉

剤	成分	除草剤名	使用時期
初中期一発剤	2	ポデーガードプロ1キロ粒剤	田植同時～ノビエ3.5葉期
		ゼアス1キロ粒剤	田植同時～ノビエ2.5葉期
	3	デオーレ1キロ粒剤	田植同時～ノビエ3.0葉期
		ジャスタ1キロ粒剤	田植同時～ノビエ3.5葉期
		アットウZ1キロ粒剤	田植同時～ノビエ4.0葉期

○ 除草残しや後発生があった場合

剤	成分	残った雑草	除草剤名
後期剤	1	ノビエのみ	ヒエクリーン1キロ粒剤
		広葉雑草のみ	バサグラン粒剤
		ノビエ、広葉雑草	アトトリ1キロ粒剤
			ロイヤント乳剤

※ 能登米コシヒカリに使用できる除草剤は限られています。この情報に記載された剤は使用可能です。他に使用できる剤は営農ごよみ等を確認してください。

※ 能登米コシヒカリ以外の品種は除草剤の指定はありません。

7 補植について **〔補植苗はいもち病の発生源となるため、すぐに処分〕**

連続した欠株がない場合は、補植は不要です。隣接株が大きく育ち、欠株分をカバーするため減収にはつながりません。やむを得ず補植する場合は、除草剤を散布する前に実施して下さい。

⇒ 散布後では、除草剤の薬害により補植苗の生育抑制や枯死、足あと部分からの雑草発生の原因になります。

- ・ 補植用の活け苗は、いもち病の発生源となるので、補植作業後は速やかにほ場から撤去して下さい。